

専修コース申請書（新規・変更）

診療科研修名【整形外科3施設ローテーションコース；4年間】

1. 診療科（専門領域）

整形外科

2. コースの概要

骨折や外傷を中心とした一般整形外科の研修終了後、整形外科の専門分野を大阪医療センター、大阪南医療センター、刀根山病院をローテーションして研修する。整形外科は、脊椎外科、関節外科、上肢・手の外科、スポーツ整形外科（関節鏡手術）、骨軟部腫瘍、小児整形外科、リウマチ・関節炎、骨・関節・脊椎の感染症、など多岐の専門領域に分かれている。各病院にはそれぞれの特色があり、専門領域の症例数に偏りがあるので、3病院をローテーションし、これらの領域をすべて網羅して研修できることが、このコースの特徴である。

3. 取得資格

- ・ 3病院とも整形外科専門医研修指定病院で、整形外科ローテーションコースでの研修期間が専門医取得のための研修期間として認定される。初期研修開始時に日本整形外科学会会員に登録すれば、4年間のローテーションコース終了時に、講習受講、論文発表などの条件を満たせば、整形外科専門医試験を受験できる。
- ・ 4年を終了した者に、国立病院機構による診療認定医（I）

4. 長期目標

- ・ 一般整形外科領域；外傷（骨折）に対する診断・初期治療の実践と治療方法の習得
- ・ 脊椎外科、関節外科、上肢・手の外科、スポーツ整形外科（関節鏡手術）、骨軟部腫瘍、小児整形外科、リウマチ・関節炎、骨・関節・脊椎の感染症、に対する診断と治療計画の策定、治療方法の習得
- ・ 整形外科専門医の取得を目標とした臨床研究
- ・ 整形外科領域の最新技術を学び、将来臨床研究医を目指す研修医への研究入門コース
領域；コンピューター支援外科、骨壊死の病態研究、など

5. 取得手技

- ・ 各病院の後期研修プログラム参照

6. 期間

4 年間

- 1) 1年間：大阪医療センターあるいは大阪南医療センター； 一般整形外科
 - 2) 1年間：大阪医療センター； 脊椎外科、関節外科、上肢・肩の外科、骨軟部腫瘍、小児整形外科
 - 3) 1年間：大阪南医療センター； 脊椎外科、関節外科、上肢・手の外科、リウマチ・関節炎
 - 4) 1年間：刀根山病院；スポーツ整形外科（関節鏡手術）、骨・関節・脊椎の感染症
- 1) の1年間の一般整形外科習得後、2) から4) のローテーション順は希望により調整

研修プログラム（例）

1年次； 大阪南医療センター 一般整形外科研修	2年次； 大阪医療センター 整形外科専門領域研修	3年次； 刀根山病院 整形外科専門領域研修	4年次； 大阪南医療センター 整形外科専門領域研修
-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------	---------------------------------

7. 募集人数

3 名

8. 診療科の実績と目標症例数

- ・各病院の後期研修プログラム参照

9. 診療科の指導体制

- ・大阪医療センター； 診療科医師数 常勤 10 名、非常勤 4 名
診療科研修の指導にあたる医師 10 名
主として研修指導にあたる医師の氏名 上田 孝文
" 診療科経験年数 25 年
- ・大阪南医療センター； 診療科医師数 常勤 5 名、非常勤 2 名
診療科研修の指導にあたる医師 3 名
主として研修指導にあたる医師の氏名 齊藤 正伸
" 診療科経験年数 28 年
- ・刀根山病院； 診療科医師数 常勤 3 名、非常勤 0 名
診療科研修の指導にあたる医師 3 名
主として研修指導にあたる医師の氏名 井本 一彦
" 診療科経験年数 20 年

10. コンセプト

・ 整形外科専門医を目指す医師に対し、外傷を中心とした一般整形外科研修の後、各専門領域の研修をすべて網羅できるように、3病院を1年間ずつローテーションするカリキュラムである。

11. 一般目標

・ 各病院の後期研修プログラム参照

12. 関連領域の研修に関して

施設内での研修 可能 不可

施設外との交流研修 可能 不可

研修領域の決定

本人の意向を研修責任者が聴取し、本人と相談して決定

日本整形外科学会、中部日本整形外科災害外科学会などの研修会に参加できる。

13. 共通領域研修について

・ 各病院の後期研修プログラム参照